

2017年2月25日(土曜日) まちづくり新聞

NBM まちづくり分科会

福祉

「普天間基地周辺まちづくりを、NBM通して市民の皆さんにも参加して欲しい」と、屋会長の挨拶で幕を開けた今回のNBMまちづくり分科会。若者が跡地利用へ参加し意見を発することにより、一般市民の跡地利用への参加を促進することを目的として開かれたこの企画は、これで3回目の開催となる。今回は福祉・景観・歴史・自然・観光の5つの分野から跡地利用計画に市民参加を促すための取り組みを大学生が提案。その案を基に有識者やオプザーバーの方たちと熱い議論を交わした



「普天間基地周辺まちづくりを、NBM通して市民の皆さんにも参加して欲しい」と、屋会長の挨拶で幕を開けた今回のNBMまちづくり分科会。若者が跡地利用へ参加し意見を発することにより、一般市民の跡地利用への参加を促進することを目的として開かれたこの企画は、これで3回目の開催となる。今回は福祉・景観・歴史・自然・観光の5つの分野から跡地利用計画に市民参加を促すための取り組みを大学生が提案。その案を基に有識者やオプザーバーの方たちと熱い議論を交わした

～普天間飛行場跡地利用計画 市民参加の取り組み方法を考える分科会～
NBMまちづくり分科会



【提案整理表】
福祉分野

福祉

照屋裕太 / 琉大
「基地フェンス沿いウォーキングで身近になる」
大城美寿々 / 琉大
「photo message コンテスト」

景観

梅澤孝徳 / 冲国大
「フィールドワーク+座談会」を通して、歴史と自然の関わりを大切にしながら話し合いを実施。宜野湾市の景観を大切にしたい跡地利用を考える。

歴史

仲地祐起 / 琉大
比嘉吉志 / 琉大
宜野湾市のリーダーとして活躍した桃原亀郎さんを題材とした劇を実施。歴史を知り、魅力を再発見する。

自然

重政佑貴 / 琉大
品川玲央 / 琉大
「科学教育を通して跡地利用を考える」ターム畑を作るなどの農業体験を学生主体で実施。子どもでも跡地利用に参加できる。

観光

東當咲智 / 琉大、与那覇南美 / 琉大
「じのーん体験型まちまーい」を通して、市民の方たちが自発的に宜野湾市の魅力を発見しながらまちづくりを考える。

NETATE
Base
Meeting
2017

お 菓子を手元に抱え、和やかな雰囲気の中で議論が始まった。大学生の案を基に、どうやったら市民を跡地利用やまちづくりに参加してもらえるのか、専門分野の方、市民、大学生など参加者それぞれの視点から議論を展開。「取り組みの効果など前向きな話が一番盛り上がった。」(福祉/照屋)最後の質疑応答では具体的な質問や新しい提案、課題点などいろいろな分野から言葉が飛び交い白熱した。



3 年目の実施となり、場の雰囲気や意見交換も質の高い回となった今回のNBMミーティング。大学生と専門家や参加者が世代を超えて積極的に、真剣に話し合う姿が印象的でした。知識や経験に優れた方々、斬新なアイデアを持ち込む大学生。いろいろな視点で行われた議論を見てみると、「ねたてのまち」をより良い方向へと進めてくれるのでは期待の持てるものとなりました。



主催：ねたてのまちベースミーティング
協力：宜野湾市基地政策部まち未来課
企画：昭和株式会社/株式会社がちゅん

次回以降もさらにたくさんの方に、大学生や専門家、市民の方々に参加いただき、一緒に作っていただきたいです。本日はご来場いただき、素晴らしい場を一緒に作っていただき、本当にありがとうございました。(編集委員会)